

令和 7 年 度 事 業 報 告

(2025 年 6 月 1 日～2026 年 5 月 31 日)



一般社団法人千代田区観光協会

目 次

1	地域との連携及び支援事業	5
	(1) 地域関係団体イベントとの連携・支援	
	(2) 地域観光団体等との連携	
2	観光資源磨き上げ創出事業	8
	(1) 観光資源磨き上げ創出事業	
3	観光イベント事業	9
	(1) さくらまつり	
	(2) 皇居千鳥ヶ淵 灯ろう流し	
	(3) 写真コンテスト	
	(4) 北の丸公園活用	
4	観光情報発信事業	13
	(1) ウェブサイト運営	
	(2) 外国人向け情報発信	
	(3) ガイドブック制作	
	(4) 観光案内所の運営	
	(5) 展示会等出展	
	(6) 皇居乾通り一般公開への協力	
5	観光人材育成事業	17
	(1) 観光ガイド団体等との連携	
6	観光協会推進事業	18
	(1) 会員交流会の実施等	
	(2) 協会事業PR等	
	(3) 地域ブランドの企画・販売	
	(4) 観光拠点施設運営	
	(5) 観光行事等に関する後援等	
	(6) 社員総会・理事会の開催	
7	管理運営	21
	(1) 事務局人件費	
	(2) 事務局の維持管理	

1 地域との連携及び支援事業

(1) 地域関係団体イベントとの連携・支援(補助・継続)

□事業内容

千代田区内で行われる各種伝統行事や地域のイベント等を観光資源と捉え、関係団体と連携し、広域的にPRを行うとともに、プレスリリースやニュースレターなどでマスメディアに発信しました。

□事業内容

① イベントマップ等

観光客が多く訪れるお祭りやイベント情報を掲載したマップやパンフレットを作成し、観光案内所等で配布しました。またウェブサイトにも掲載し、現地を訪れる前に情報が入手できるよう、幅広く発信しました。

【実績】

- ・秋まちホリック（9月／ウェブサイト制作）
- ・春の地域周遊企画（3月／ウェブサイト制作）
- ・山王祭（5月／ウェブサイト制作）

② 地域イベントのプレスリリース・PR

地域イベントや観光情報等についてプレスリリース・ニュースレターを作成し、新聞、テレビ、雑誌、ウェブサイト等のマスメディアに発信しました。

【実績】プレスリリース：7件 取材案内：2件 ニュースレター：1件

③ 各種スポット・イベント撮影

ポスターや冊子、ウェブサイトなどへ掲載するためイベントやまちなみの風景などを撮影しました。新しい視点で動画撮影を実施、区内の民間保有のサイネージなどへも提供し、千代田区の魅力を幅広くPRしました。

【実績】スポット・イベント撮影等 2件

④ 観光大使出演経費

地域を盛り上げるためのイベントなどに、千代田区観光協会観光大使リラックマを活用し、より幅広い層へPRし、イベントを活性化しました。

【実績】神田古本まつり、神田カレーグランプリなど

□決算額：16,866,181円（予算額 21,717千円）

PR一覧

プレスリリース	6月	SNSでも話題！夏の夜に特別な思い出を 2,000個の灯ろうが織りなす幻想的な光「皇居千鳥ヶ淵 灯ろう流し」 水面に放つ「灯ろう」は6月5日（木）より販売開始 ～ボートから水上へ直接灯ろうを放つ、1日60艘限定の「船上灯ろう」は抽選販売～
ニュースレター	7月	今年の夏も猛暑の予想。涼を楽しむ千代田区の夜 厳選「ナイトライフ」スポットで夏の暑さを乗り切る！ 都会のど真ん中でキャンプ!?屋上ヨガ、神社でショーまで ちよだで楽しむナイトライフ
プレスリリース	7月	蔦屋重三郎が令和に転生「AI 蔦屋重三郎」が編集長 千代田区カルチャー誌『千代田細見』第2弾は「秋葉原」 へ！お笑いトリオ「リンダカラー∞」や注目の俳優・渡邊斗 翔さんも“アキバ”に登場 ～8月は大河ドラマパネル展や公開生放送、蔦重神保町ツ アー等、千代田区×蔦重企画も盛りだくさん！～
プレスリリース	10月	本、カレー、スポーツ、音楽、コーヒー、アート、映画など の千代田区の街が遊び場になる秋イベント「秋まちホリ ック」プロモーションがスタート 「意味わからんけど、ハマるまち」が合言葉 千代田区観光 協会特設サイトも10月15日にオープン！
プレスリリース	12月	食レポの新星！お笑いコンビ「エバース」や注目の大河女 優・「藤間爽子」さんも登場 「AI 蔦屋重三郎」が編集長を務める千代田区カルチャー誌 『千代田細見』最終号は「未来」特集 ～230年の時を経て、AI 蔦屋重三郎が見つめる千代田区の “これから”～
取材案内	12月	観光大使5周年！大使任命式と記念イベント開催 千代田区観光協会観光大使のリラックマたちが勢ぞろい！
プレスリリース	1月	リラックマたちが勢ぞろいで登場！記念イベント開催観 光大使就任5周年新プロジェクト始動 ～デザインマンホール設置記念スタンプラリー実施他、オ リジナルデザイン周年記念グッズの発売など、記念企画を 順次展開～
プレスリリース	2月	皇居千鳥ヶ淵 夜桜ライトアップ2026開催決定！ 春の千代田を楽しむ「千代田のさくらまつり」は3/5～4/22 初開催！アニメ『わたしの幸せな結婚』コラボスタンプラリ ー&3/5 和田倉噴水公園で伝統芸能とマルシェを楽しめる オープニングイベント

取材案内	3 月	絶景夜桜！都内屈指の桜の名所 約 700m 続く皇居千鳥ヶ淵 初開催！今年はアニメ「わたしの幸せな結婚」コラボスタン プラリー&和田倉噴水公園で伝統芸能を楽しめるオープニ ングイベントも開催！ 2026 年 春の千鳥ヶ淵 桜シーズンに関する取材のご案内
プレスリリース	5 月	～2026 年は 2 年に一度の「本祭」の年！千代田区観光協会 が見どころを厳選～ 「山王祭 楽しみ方ガイド」を公開 約 500 名の祭列が皇居・東京駅周辺・銀座・日本橋を巡る 「神幸祭」

(2) 地域観光団体等との連携(自主・継続)

□事業内容

これまで区内大学・専修学校等と連携し、学生による観光マップや観光 P
R 動画の制作協力や、千代田区の水辺の資産である川を活用する団体が実施
する神田川・日本橋川活用事業への支援などにより、区の魅力を発信してき
ました。

今後、新たな千代田区の魅力をアピールする地域の観光団体等とも連携、
協力を進めていきます。

【実績】

- ・NP0法人 江戸城天守を再建する会主催の東御苑夏休み親子ツアー（8 月）
- ・二松学舎大学 1 年生による千代田区内ツアー企画制作（通年）
- ・東京都主催あしたの東京プロジェクト「江戸東京歴史ツーリズム」ガイ
ドツアー（9 月）

□決算額：390,000 円（予算額 700 千円）

2 観光資源磨き上げ創出事業

(1) 観光資源磨き上げ創出事業(補助・拡充)

□事業内容

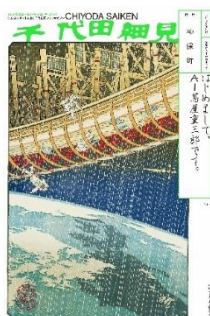
各種番組で登場しそうな地域の観光資源を活用した事業を実施し、ゆかりの場所などを紹介し、歴史愛好家、番組ファンだけでなく、多くの方に千代田区を訪れ、区内を回遊してもらうきっかけとします。番組放送等とタイムリーに事業を実施することにより、メディアと相乗効果を得られるよう、事業内容を検討し、地域の関係団体と協力体制を整え実施しました。

□実施予定時期：通年

【実績】

- ・NHK 財団と共同制作パンフレット「べらぼう～蔦重栄華乃夢噺～」千代田区版 30,000 部
- ・AI 蔦屋重三郎を編集長とした「千代田細見」
創刊号（神保町編）、2号（秋葉原編）3号（未来編）各 5,000 部、計 15,000 部。（追加で創刊号、2号を増刷）誌面内でスタンプラリーを実施。
- ・NHK 土スタ公開生放送（ゲスト：生田斗真）を共立講堂で開催（8月）
- ・べらぼうパネル展を開催。キャストバナーや大河ドラマの台本のほか、大屋書房の協力により、吉原細見などの古書、浮世絵を展示。同時に江戸東京ガイドの会による蔦重ツアーも実施。
日程：令和7年8月25日～31日 会場：千代田区役所区民ホール
来場者数：1,071人 ツアー参加者数：59人
- ・蔦重ツアー11月の皇居乾通り一般公開（秋季）に合わせて
日程：令和7年11月29日（土）、12月2日（火）、4日（木）、7日（日）
（1日3回 各回定員20名）

□決算額：18,345,750 円（予算額 20,000 千円）



千代田細見創刊号



べらぼうパネル展（区民ホール）

3 観光イベント事業

(1) さくらまつり(補助・継続)

□事業概要

千代田区には桜の名所として国内外に著名な千鳥ヶ淵がありますが、他にも桜のスポットが数多くあることから、令和6年度より「千代田のさくらまつり」を千代田区全体での総称とし、地域の関係団体、企業等の協力・連携して開催することとしました。

【実績】

実施期間 令和8年3月5日(木)～4月22日(水)

①夜桜ライトアップ 3月26日(木)～4月6日(月) 18時～21時

②車両通行規制と緑道の歩行者の一方通行(土日のみ) 9時～21時

ライトアップ期間中、千鳥ヶ淵緑道沿いの車道を通行止めとし、歩行者の安全を確保しました。また混雑緩和のため、千鳥ヶ淵緑道の「歩行者の一方通行(土日のみ)」を実施しました。

期間中来場者数(サンプル日から試算)約 563,000人(令和6年度 624,000人)

③案内所・販売所の設置

千鳥ヶ淵への来場者向けに、ガイドマップ等の配布や観光案内を行いました。また観光協会オリジナルグッズを販売しました。

④観光協会ウェブサイト「さくらまつり特設サイト」

おすすめの桜スポットや期間中の関連イベント、ライブカメラによる桜の開花状況などの情報を発信するほか、会場内の現在の混雑状況をタイムリーに更新し、来場者へ混雑緩和を促す情報提供を行いました。また令和6年度初めて実施したポート場のスマートチケット販売、「得とく周遊キャンペーン」の参加店舗情報や各店舗で利用できるクーポンをサイト上で発行しました。

閲覧数 約 660,403 PV(令和6年度度 616,130 PV)

キャンペーン参加数 71店舗 イベント参加数 43件

⑤プレスリリース、メディア対応事務局

メディア向けにプレスリリースの配信を行ったほか、取材依頼の一時受けを担うPR事務局を設置し、TVや新聞等の取材に積極的に対応しました。

取材対応 63件(うち取材中止13件)

⑥スタンプラリー

観桜客の区内回遊を促すイベントとして、令和7年度は(株)KADOKAWAの人気アニメ作品で「桜」がテーマの『わたしの幸せな結婚』とコラボレーションしたスタンプラリーを実施しました。ラリースポット全5か所でスタンプを押すと千代田区観光案内所でノベルティのオリジナルステッカーをプレゼントしました。参加することで千代田区の魅力に気付いてもらうだけでなく、立ち寄り施設での飲食等、区内での消費行動にも繋がり、回遊施策として一定の効果が得られました。

期間 令和8年3月11日（水）～4月22日（水）

ラリーシート配布実績 12,000セット

ラリースポット 飯田橋サクラテラス・エキュートエディション飯田橋・東京大神宮・九段会館テラス・国立公文書館

ノベルティ配付数 1,157枚

⑦近隣地域周遊ツアー「千代田よりみちTrip」

千代田区観光ガイド連絡会参加団体による、千鳥ヶ淵周辺スポットをガイドが案内してくれる無料の回遊ツアーを催行しました。日本人だけでなく外国人観光客にも対応できるよう英語ツアーもあわせて実施しました。

市ヶ谷（日・英）、神保町（日・英） / 実施 48ツアー 参加者数 計152名

皇居東御苑（英） / 実施 6ツアー 参加者数 計35名

神保町ツアー（日） / 実施 1ツアー 参加者数 計6名

合計 55ツアー 193名参加（令和6年度 68ツアー 182名参加）

⑧千鳥ヶ淵ボート場 スマートチケット

ボート場の混雑緩和や観光客の需要に対応することを目的に、並ばずに乗船可能な「スマートチケット」を企画し、ウェブによる事前販売を行いました。

期間 ライトアップ期間（3月26日～4月6日）

販売数 2,720艘（令和6年度 2,219艘）

売上額 26,545,239円（令和6年度 19,790,248円）

⑨皇居乾通り一般公開 臨時観光案内所でのガイド配置

宮内庁主催「皇居乾通り一般公開」の乾門出口の臨時観光案内所にて区内で活動するガイドを複数名常駐させ、マップの配布や観光案内を行いました。

期間 3月21日（土）～3月29日（日）までの9日間

□決算額：114,557,430円（予算額 134,535千円）

(2) 皇居千鳥ヶ淵 灯ろう流し(補助・継続)

□事業概要

千代田区の夏の風物詩となっている「皇居千鳥ヶ淵 灯ろう流し」を、千鳥ヶ淵ボート場において千代田区と共催で開催します。近年はインバウンドにも人気のイベントとなっており、令和7年度も2日間開催しました。

【実績】

実施日：令和7年7月30日（水）・31日（木）の2日間

ボート乗船販売数 122 艘

灯ろう事前販売数 1,545 個 提灯当日販売数 619 個

観覧者数（2日間） 計 7,300 人

ボート乗船料、灯ろう製作費については地域ブランド企画・販売から支出。また売り上げの一部を千鳥ヶ淵の景観維持のため、さくら基金に寄付します。

□決算額：15,600,982 円（予算額 17,720 千円）

(3) 写真コンテスト(補助・継続)

□事業概要

千代田区の四季折々の風景や伝統行事、訪れてみたくなる場所を、様々な人々の視点から発掘してもらい、区の新たな魅力発見に繋げるため、写真コンテストを実施しました。

令和7年度も、応募方法にInstagramを活用し、より効果的に千代田区の魅力を発信につながるようにしました。グランプリ、審査員特別賞、協賛各社賞等の賞を設け、入賞作品の活用方法もノベルティしたり、サイネージに展示したりと広げています。

【実績】

募集期間 令和7年6月23日～12月25日

応募点数 約3,310点

協賛 16社（うち冠賞 14賞）

□決算額：2,581,841 円（予算額 2,585 千円）

(4) 北の丸公園活用(自主・継続)

□事業概要

環境省との連携により、北の丸公園及び公園周辺を新しい観光資源として活用やイベント事業に活用しました。蔦重ツアーとして、北の丸公園内の田安門の普段施錠されている武者隠しを特別に開け、内部の見学を実施したほか、千代田のさくらまつりのオープニングイベントとして、皇居外苑で千代田区観光協会文化観光大使「禮」が出演の伝統芸能の屋外ステージとマルシェを実施しました。

【実績】

蔦重ツアー（11 月）北の丸公園

SAKURA OPENING LIVE（3 月）皇居外苑（和田倉噴水公園）

□決算額：5,115,000 円（予算額 3,000 千円）



蔦重ツアーでの田安門見学



SAKURA OPENING LIVE（和田倉噴水公園）

4 観光情報発信事業

(1) ウェブサイト運営(補助・継続)

□事業内容

観光客等のニーズに即した情報提供を行うため、季節のイベントや地域の行事等の観光情報や、歴史、文化、グルメ等を検索できるデータベース機能を備えるとともに、ウェブサイトのコンテンツの維持管理を行いました。

SNSでも、千代田区観光インスタグラマー2名を活用し、イベントや新しい観光スポットなどを随時投稿しました。

【実績】

ウェブサイトページビュー数 2,410,469 件（令和6年度度 2,605,666 件）

フォロワー数 X : 22,000 Facebook : 1 万 Instagram : 1,5 万

□決算額 : 14,368,670 円（予算額 13,889 千円）

(2) 外国人向け情報発信（補助・継続）

□事業内容

海外からの観光客が日本を訪れる際、まず東京千代田区に行ってみたいと感じてもらえるよう、更なる千代田区の魅力発信を推進するため、外国人向けのSNS発信や、富裕層向け冊子の紙面記事制作などを行いました。

【実績】

『Tokyo Weekender』（8 月美術館、10 月スノー用品が買える街、12 月レトロショップ特集、3 月桜スポット）ウェブ記事掲載 4 回・Instagram フィード投稿 4 回・Facebook フィード投稿 4 回

『Tokyo Weekender』（8 月神保町、11 月公園散策、1 月神田明神、3 月ベストフォトスポット特集）Instagram リール投稿 4 回

□決算額 : 9,572,154 円（予算額 10,201 千円）

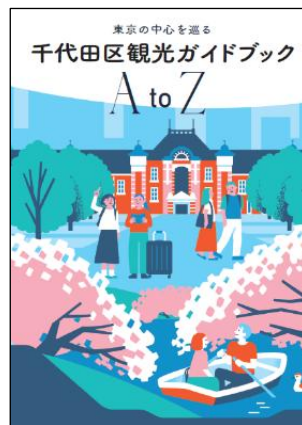
(3) ガイドブック制作(補助・拡充)

□事業内容

案内所、会員ホテル等で配布する観光マップを作成しています。総合観光ガイドブックのリニューアルを行いました。

【実績】総合観光ガイドブック AtoZ 10,000 部

□決算額：5,081,036 円（予算額 7,480 千円）



観光ガイドブック AtoZ

(4) 観光案内所の運営(補助・継続)

□事業内容

千代田区及び周辺地域の観光情報を発信するとともに、インバウンドを含めた来街者の観光相談に外国語対応できるスタッフが案内する観光案内所を運営しました。案内所では、全国各地のパンフレットをもらいに来たり、千代田区観光協会観光大使リラックマなどのオリジナルグッズを購入したりする人で来館者数は増え、過去最高人数を更新しました。特に、5月12日から配布を始めたリラックマのデザインマンホールカードは人気が高く、当初は1日300人の事前登録性にしましたが、来館者数が増える一つの要因となっています。その他にも、神田カレグランプリのカード交換、スタンプラリーのスポット、区のひと涼みスポットなどで協力しました。

【実績】

年間来館者数 43,656 人〈日本人 40,528 人 外国人 3,128 人〉
(令和6年度) 32,567 人〈日本人 30,983 人 外国人 1,584 人〉

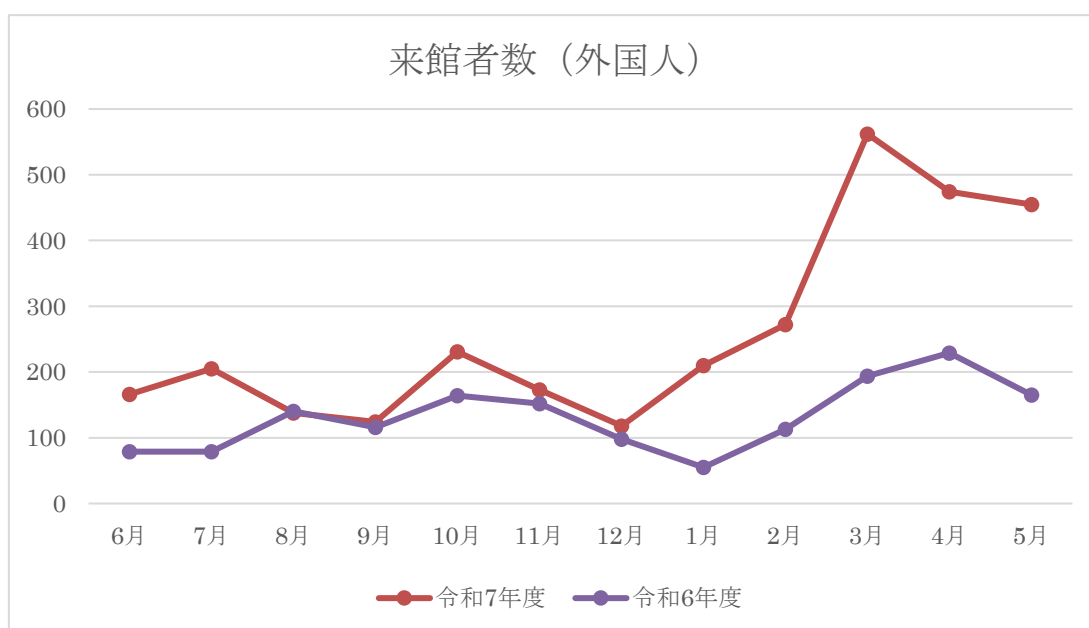
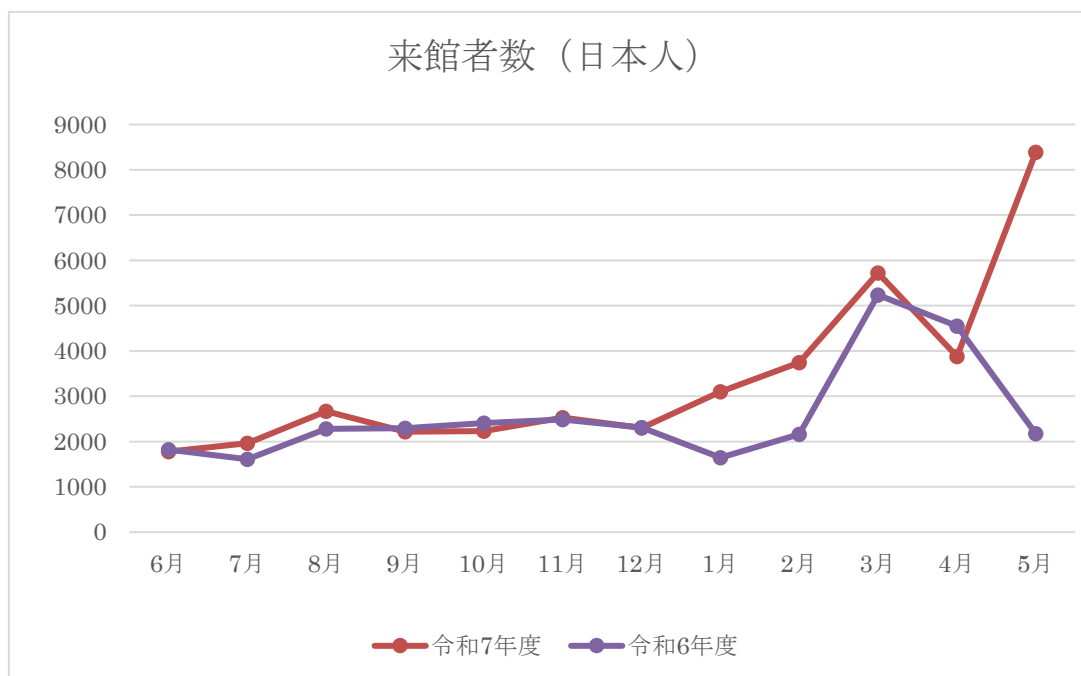
□営業日

通年 10時～18時

休館日：第4日曜日（繁忙期は営業）、年末年始

□決算額：17,266,526 円（予算額 16,890 千円）

案内所来館者数



3月、4月の来館者数が多いのは例年通り観桜期によるものです。通常は閑散期となる1月に来館者数が多いのは、1月から観光大使リラックマのイベントとグッズ販売が重なったことが要因です。外国人も特にアジア圏でSNSから広まり、例年より増えました。また5月の来館者数が突出しているのはリラックマのマンホールカードの配布が始まったことが要因です。

(5) 展示会等出展(補助・継続)

□事業内容

令和8年3月に開催された東京マラソン当日の皇居外苑のイベントスペースのほか、観光協会が出展できる展示会など、さまざまな機会に千代田区ブースを出展し、千代田区の取り組みや観光情報の発信等を行います。

【実績】

出展：①「東京カメラ部写真展」会場 渋谷ヒカリエ

日程 令和7年9月12日(金)～15日(月・祝)

来場者数 約20,000人

②東京マラソン応援イベント「TOKYO CHEER 2026」会場 皇居外苑

日程 令和8年3月1日(日)

来場者数 約7,800人

□決算額：700,000円(予算額 700千円)

(6) 皇居乾通り一般公開への協力(補助・継続)

□事業内容

宮内庁が主催する皇居乾通り一般公開に際して、来場者の利便性に資するとともに、来場者の区内への回遊に繋げるため、皇居乾門前に観光協会の案内所を設置し、観光ガイド団体の協力を得て観光案内を実施しました。合わせて、公文書館でのキッチンカー出店と令和7年度初めて薦重ツアーを実施。公文書館を出発し、北の丸公園を通過、田安門へ。環境省の協力を得て、田安門武者返しを見学しました。ツアーは大好評で、すべて満員となりました。

また29日・30日は農林水産省所管の三番町共用会議所の一般公開もあり、館内ツアーガイドを観光協会に請け負いましたので、一体的に観光案内を実施できました。

【実績】

乾門案内所 令和7年11月29日(土)～12月7日(日)

薦重ツアー(1日3回 各回定員20名)

日程 11月29日(土)、12月2日(火)・4日(木)・7日(日)

三番町共用会議所館内ツアー 11月29日(土)・30日(日)

□決算額：634,500円(予算額 1,135千円)

5 観光人材育成事業

(1) 観光ガイド団体等との連携(補助・継続)

□事業内容

多くの観光スポットを擁する千代田区において、地域で活動している観光ガイド団体等のガイドが、よりよいツアーガイドとして活躍するために必要な講座やスキルアップできる講座・研修会を実施しました。令和7年度は、インバウンド客に楽しんでもらうコツの講演会の後、参加者が日ごろの活動や悩みなどを共有する交流会を開催しました。また、講演内容の動画は、登録団体限定で配信しました。

【実績】

日時：令和7年8月19日（火）14時～／令和8年1月28日（水）14時～

会場：TKP 御茶ノ水ビジネスセンター

講師：ポール・ウォルシュ氏、ジョイ・ウォルシュ氏

参加者数：5団体 19名／ 4団体 30名

□決算額：3,353,680円（予算額 13,590千円）

6 観光協会推進事業

(1) 会員交流会の実施(自主・継続)

□事業内容

会員と協会及び会員相互の更なる連携・交流を図ることを目的として、第7回会員交流会を実施しました。今回は、SNSを実践的に学べる講演と交流会を開催しました。

【実績】

日時：令和7年11月18日（火）16:00～

会場：3×3 Lab Future（千代田区大手町）

講師：スキヤキッド 代表 河田 洋平氏

参加者数：31社 49名

□決算額：462,009円（予算額 1,000千円）

(2) 協会事業PR等(自主・拡充)

□事業内容

広告費、協賛金や会費のほか、さくらまつり期間のスマートチケット、灯ろう流しの販売収入からさくら基金等への寄付について支出しました。

□決算額：4,135,948円（予算額 2,500千円）

(3) 地域ブランドの企画・販売(自主・継続)

□事業内容

千代田区の地域ブランドとして定着させるとともに、観光協会の財源確保の一助とするため、オリジナルグッズの企画・販売等を行っています。

会員企業で、神田に本社があるサンエックス株式会社の人気キャラクター「リラックマ」は就任5周年を迎え、令和8年1月から就任5周年企画を進めており、デザインマンホール設置記念スタンプラリーなど回遊施策を実施しています。

その他、主に国立劇場で活躍していた若手の舞踊・邦楽集団「禮」を令和7年1月に文化観光大使として任命しており、区内のイベント等に出演

しました。

また令和6年度から千鳥ヶ淵夜桜ライトアップ時期に、千鳥ヶ淵ボート場のボートを事前購入できる仕組みを構築した「スマートチケット」は、主にインバウンドの方たちに好評で、多くの購入に繋がりました。そのシステム、運営費が含まれているほか、灯ろう流しの灯ろう製作費、グッズの製作代が計上されています。

【実績】

□リラックマ

- ・観光大使5周年記念イベント 令和8年1月21日（水）（会場 神田スクエア）
参加者 約800名
- ・デザインマンホール設置記念スタンプラリー
令和8年1月21日（水）～5月20日（水） 参加者 約7,800名

□禮

- ・AKIBA FES 令和7年8月30日（土）（会場 秋葉原UDX）
- ・和ルミネーション 令和7年10月31日（土）・11月1日（日）（会場 大手町）

□オリジナルグッズ

SAKURA BATH、KUROMATSU BATH、ポストカード、観光大使リラックマコラボグッズ、マンホールマグネットなど

□スマートチケット（さくらまつりライトアップ期間）

システム構築、運営費用、ボート乗船料

□皇居千鳥ヶ淵 灯ろう流し

灯ろう製作費、ボート乗船料

□決算額：33,211,235円（予算額 6,000千円）



表



裏

観光大使リラックマのマンホールマグネットとクリアファイル

(4) 観光拠点施設運営（自主・継続）

□事業内容

万世橋出張所・区民館の5階を区から借り受け、そこに観光事業の拠点となる施設千代田ツーリズムイノベーションベース（CTIB）を新たに設けました。施設の運営者は、一般社団法人日本スポーツツーリズム推進機構（JSTA）で、観光協会だけでなく、地域団体、民間企業等と連携し、スポーツ・文化・ツーリズムの視点から、新たな千代田区の観光事業を創設しています。

東京マラソン応援イベント「TOKYO CHEER 2026」のブース出展をCTIBと関連事業者が運営しました。

□決算額：5,861,139 円（予算額 7,500 千円）

(5) 観光行事等に関する後援等（自主・継続）

□事業内容

地域団体、民間団体、民間企業等が主催するイベント、講演会、記念式典等の行事に対し、千代田区観光協会の後援名義・協力名義を付して協力しました。

【実績】 後援 28 件 協力 10 件 共催 1 件
（令和6年度 後援 28 件 協力 14 件 共催 1 件）

(6) 社員総会・理事会の開催（自主・継続）

□事業内容

役員の選任、事業計画、事業報告等、観光協会の重要議案の審議等を行うため、総会及び理事会を開催しました。

◎定時社員総会

日時：令和7年8月27日（水）16時～

会場：ザ・ペニンシュラ東京（千代田区有楽町）

議案審議（役員の選任、令和6年度事業報告・令和6年度収支決算報告）

報告事項（令和7年度事業計画・令和7年度収支予算）

出席：88 会員 委任状：121 会員 合計 209 会員（全会員数 260）

懇親会出席：65 会員 97 名

◎理事会：議案の審査

第1回：令和7年7月16日（水）13時30分

令和 6 年度事業報告及び収支決算報告について
第 2 回：令和 7 年 12 月 11 日（木）14 時
令和 7 年度事業実施状況中間報告について等
第 3 回：令和 8 年 4 月 20 日（月）
令和 8 年度事業計画及び収支予算について

□決算額：3,872,349 円（予算額 4,300 千円）

7 管理運営

(1) 事務局人件費(補助・継続)

□事業内容

会長の報酬及び協会職員の給与並びに区派遣職員の社会保険料事業主負担分

□決算額：55,388,754 円（予算額 68,984 千円）

(2) 事務局の維持管理(補助・継続)

□事業内容

事務局の維持管理に要する経費

- 旅費、通信費、印刷製本費、消耗品費、光熱水費、賃借料
- 警備、清掃、消防点検等各種委託経費
- 事務機器類リース料

□決算額：19,024,589 円（予算額 22,341 千円）